

2019年3月22日

本多通信工業株式会社

取締役会の実効性評価

当社は「常に最適なコーポレートガバナンスを追求し、その充実に継続的に取り組む」とした基本方針に則り、「取締役会の実効性」を自己評価しました。把握できた課題の改善により、引き続き、取締役会の意思決定機能及び監督機能の向上を図ってまいります。

1. 評価の方法

- ① すべての社外役員(5名)を中心とした意見交換会にて、評価項目を協議し、取締役会の賛同を得て、全取締役・全監査役を対象にアンケートを実施しました。
- ② アンケートは、“取締役会は意思決定機関として役割・責務を実効的に果たしているか”等の設問に対し、求められる水準に照らして、“十分、満足”から“不足”までの5レベルで評価し、その判断理由を記す内容です。
- ③ 取締役会にて、本アンケートの集計結果に基づいて、当社の取締役会の実効性を自己点検するとともに、課題を抽出し、今後の取り組みを明確化しました。

2. 評価結果

- ① 女性の社外取締役の新任により、当社の事業内容および規模に照らして適格な取締役会の構成となるとともに、多様性が高まりました。
- ② 取締役会を補完する目的で設置した意見交換会(すべての社外役員5名+社長・若手取締役+常勤監査役)が、重要事項に関する事前協議の場として、有効に機能をしています。
- ③ ESG/SDGs や働き方改革など外部環境の変化に対しては、具体的な目標やアクションに繋がるよう、議論を一層深める必要があります。

3. 今後の取り組み

今年度よりオフィシャル化した意見交換会も活用し、ESG/SDGs への取り組みや働き方改革および中長期計画など、経営の根幹に関して深く協議する場へ進化させるべく、テーマ選定・時間配分などを改善し、一層の実効性の向上に取り組めます。

以上